

(仮称)桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略原案に対する意見・提言要旨【市議会議員】

| 基本<br>目標 | 施策の<br>方向性 | 意見等                                                     |
|----------|------------|---------------------------------------------------------|
| 1        | (1)        | 物流拠点の確保のための北関東自動車道へのアクセス道路整備、IT関連企業の誘致                  |
| 1        | (1)        | 武井西工業団地造成事業後も企業立地調査を継続実施                                |
| 1        | (1)        | 桐生で育った企業に対して、桐生の自然環境等を活用するよう働きかけ、研修や研究所等の施設の誘致          |
| 1        | (1)        | 東京一極集中を是正するための多面的な取組(企業の地方移転等)                          |
| 1        | (2)        | 海外からの大口投資の推進                                            |
| 1        | (2)        | 商品企画やデザイン、マーケティング等に特化した企業・人材の育成、呼び込み、連携による桐生ブランドの創出     |
| 1        | (2)        | 産学官が一体となり、それぞれ役割分担に応じた桐生ブランドの創出(行政の思い切った財政支援)           |
| 1        | (2)        | 織都1300年に培われた繊維の技術の伝承・発信と世界に向けた繊維のブランディング戦略              |
| 1        | (2)        | 繊維関連の世代間伝承だけでなく、地域として人を入れて技術を伝承できる仕組み                   |
| 1        | (2)        | 地場産業の織物や刺繍の技術を生かしたまちの振興・発展、雇用の創出                        |
| 1        | (2)        | 織都桐生に伝承されたデザインを車の室内空間の装飾等に活用し、自動車産業と一体となった繊維産業の活性化      |
| 1        | (2)        | 群馬大学と連携した今ある技術やものを発展・振興させる取組                            |
| 1        | (3)        | 商品企画に集中できる企業や企業家を育成できるような取組                             |
| 1        | (4)        | 株式会社農林漁業成長産業化支援機構(A-FIVE)を使った事業                         |
| 1        | (5)        | 海外の事業所での実地研修を支援し、グローバル展開を視野に入れた人材育成                     |
| 2        | (1)(2)     | 市内での住宅取得における弊害を調査し、中古住宅の活用                              |
| 2        | (1)(2)     | 就業は隣接市町村でも、居住は市内に若い世代を誘導するためのまちづくり                      |
| 2        | (1)(2)     | 働く場は隣接自治体でも、道路整備等による通勤や住環境などを整えることにより、住んでもらう(呼び込む)施策に注力 |
| 2        | (2)        | 相続物件の寄付受入れを積極的に行い、リフォームして販売・貸付け                         |
| 2        | (2)        | 群馬大学理工学部の学生に対する奨学金免除(補助)【市外在住者】                         |
| 2        | (2)        | 群馬大学理工学部への入学希望者へ優先的に推薦枠を設置【市内在住者】                       |
| 2        | (3)        | 遊園地、動物園のアミューズメントパーク化や民間委託の検討                            |
| 2        | (3)        | 重伝建、彦部家住宅、桐生明治館、ハイキング・登山、カッソソウ、ぐんま昆虫の森、利平茶屋森林公園などの有効活用  |
| 2        | (3)        | 日本遺産とぐんま絹遺産に指定された市内の施設を巡る観光マップ(音声・映像)の作成、スマホでの活用        |
| 2        | (3)(4)     | 来桐者に八木節祭りの活況を伝えられるよう、放映や実演を行う施設として「桐生八木節会館」を設置          |
| 3        | (1)        | 織物や染色体験等の桐生の特徴を生かした協働作業をするような婚活を支援し、自然に縁を育めるような仕組みづくり   |
| 3        | (2)        | 学校給食費の無料化や保育料の無料化の拡充                                    |
| 3        | (3)        | 産婦人科、小児科、周産期医療機関の整備など子育て環境の整備                           |
| 3        | (3)        | 市内の小学生以下と保護者に対して、遊園地における無料優待券を配布し、遊具の無料化                |
| 3        | (5)        | 未来創生塾等の改編やPRにより、都市圏の子供たちを軸とした(親の誘致に繋がる)交流人口の拡大          |
| 4        | (1)        | 自主防災組織を通じた防災対策や防犯活動の充実、緊急時における全市民(外国人含む)への連絡網の確立        |
| 4        | (2)        | 人口8万人に応じた職員数の適正化                                        |
| 4        | (3)        | 買物・交通、高齢者の受入環境の整備などを根本的に解決できる施策                         |
| 4        | (3)        | 東京圏の自治体と契約(災害協定含む)を結んでサービス付き高齢者住宅の整備                    |
| 4        | (3)        | コンパクトシティという概念の中でCCRCの取組                                 |
| 4        | (7)        | 広域的な視点で桐生地域の活性化に繋がる道路網の整備や高速道路へのアクセス向上の取組               |
| 4        | (7)        | 一自治体で全てを創生するのではなく、他都市との連携を軸にした取組                        |
| 全        |            | ある程度事業を絞り、これが桐生の方針だということを示す。                            |
| 全        |            | 教育と医療の充実を図った「桐生らしさ」がわかる総合戦略の作成                          |
| 全        |            | 国の「総合戦略」で示されているような実現可能性のある事業の絞り込み                       |
| 全        |            | 国から示された政策パッケージ実施の検討                                     |
| 全        |            | 現在地域に住んでいる人、事業者に対する支援策の推進                               |
| 全        |            | 住民の幸せ・幸福度を量る成果指標の設定                                     |